



アイコ・グリーガ / Eiko Grieger

カウンセセル

東京
+81.3.6205.3608

eiko.grieger@klgates.com

略歴

東京オフィスのカウンセセル。バンキング及びアセットファイナンスチームに所属し、主に航空機、資産、設備及び輸送ファイナンスを担当すると同時にインフラや買収ファイナンス案件も担当している。ドイツおよび日本において複雑かつ多様な国内および国際的なクロスボーダー取引案件で実績を有し、これまで手掛けた分野には、航空機ファイナンス、鉄道関連ファイナンス、IT設備、インフラ及びリース案件などがある。主なクライアントは銀行や金融機関、投資家、クローズド・エンド型投資ファンド、借主、個人富裕層や経営者等で、また航空機案件の貸手や借手、インフラ、鉄道及び公共交通の業界にも助言を提供している。日本のオペレーティングリース（JOL）、コールオプション付きの日本のオペレーティングリース（JOLCO）、オペレーティングリース、ファイナンス/キャピタルリース、セールス&リースバックおよびポートフォリオセールス、買収、事業再編、および車両を含む様々な資産のための資金調達等の案件に従事。また同氏は自家用機のパイロット免許を所持しているもあり、航空関連分野に関して深い知識を有している。

経歴

他の法律事務所勤務を経たのち、2009年に当事務所へ入所。担当分野はバンキング及びファイナンス。以前は国際的なコンサルティング会社にて海外勤務も経験している。

またドイツ語を母国語とし、長年にわたりフランクフルトにて活躍。その間、リースや資金調達関連の案件に関し世界の主要な貸手や金融機関に助言を提供した。日本語も流暢であり、日本と国際金融市場の仲介役として活躍している。

実績

実績

- バンキング案件において「Key Contact」として推奨される（リーガル500アジア太平洋ガイド、2020年）
- 「Aviation 100 Asia-Pacific Debt Deal of the Year」に選出された案件に関しアドバイスを提供（エアライン・エコノミクス、2019年）

- 「Aviation 100 Asia-Pacific Overall Deal of the Year」に選出された案件に関しアドバイスを提供（エアライン・エコノミクス、2019年）
- エアファイナンス・ジャーナル・グローバル・アワード「ABS Deal of the Year」に選出された案件に関し、アドバイスを提供（2019年）
- アジア太平洋・欧州・中東市場で2位にランクイン（エアファイナンスジャーナル法務調査、2019年・2020年）
- エアファイナンスジャーナルの「航空金融の世界的トップ3法律事務所」に選出（2018年・2019年・2020年）
- JOL/JOLCOの取引件数に基づいて、エアファイナンスジャーナルが選ぶトップ法律事務所にランクイン（2017年・2018年）

スカラーシップ

- ドイツ学術交流サービス（DAAD）の奨学金により、「日本での語学習得と実務トレーニング」プログラムに参加。

専門/活動

- 国際輸送機貿易協会（ISTAT）
- 独日法律家協会（DJJV）

学歴

- 第二司法国家試験合格、ハンブルク高等裁判所にて司法修習、2005年
- 第一司法国家試験合格、コンスタンツ大学法学修士、2000年
- 法学マギスター、コンスタンツ大学法学修士、2000年

使用言語

- 英語
- ドイツ語
- 日本語

出版物

- UAE: More Gold from the Desert, Cleared to Land（K&L Gates アビエーション ニュースレター、2019年1月）

- Contribution on legal aspects of engine financing to "Tokyo Engine Roundtable 2017: Leasing demand grows"
(エアファイナンス・ジャーナル、2017年5月)
- Change of the German General Railways Act becomes effective - rolling stock manufacturers become liable for the safety of rolling stock at the time of entry into service (Änderung des Allgemeinen Eisenbahngesetzes tritt in Kraft – Hersteller haben die Verantwortung für die Sicherheit von Fahrzeugen im Zeitpunkt der Inbetriebnahme) Transport Industry Alert (フランク トーマス博士・アイコ L.グリーガ共著、2012年7月12日)

専門分野

- ファイナンス
- 航空機ファイナンス
- コーポレートファイナンス、買収ファイナンス、アセットファイナンス
- フィンテック
- 不動産－ファイナンス・投資

業界

- テクノロジー
- フィンテック
- 人工知能・機械学習
- 航空
- 運輸・物流
- 金融サービス

主な案件

- Cessna Citation 680 Sovereignビジネスジェット2機の資金調達について米国の金融機関に助言。
- Frankfurter Sparkasse、HelabaおよびSpairliners間の既存の担保付融資およびリボ契約の借換において、5000万ユーロの期間付融資および250万ユーロのリボ契約に関して、貸与者である国際投資銀行に助言。
- Lufthansa Technik AGとエールフランスの合弁会社で、Airbus A380型機やEmbraer E-Jet航空機用の航空機部品の世界的有数企業であるSpairliners)に対する4000万ユーロの長期融資に関連して、Landesbank Hessen-Thüringen Girozentraleを貸与者、調整役および担保管理者として、またBayernLBを貸与者として助言。

- アジアの大手航空会社へのリースにおけるAirbus A330-300型機3機の資金調達に合わせて作成されたノートプログラムについて、ドイツの大手クロードファンドの創始者に助言。
- Boeing 737-8K5型機1機の資金調達および取得、同機の対英国の航空会社へのリース契約に関して、金融投資家に助言。
- 対ドイツの大手航空会社へのAirbus A320-214型機4機のJOLCO融資の締結に関し、日本の投資家に助言。
- 対日本企業の子会社へのリース、および対ドイツの航空会社へのサブリース契約中のBoeing 737-800型機1機のJOLCO融資に関し、貸与者である金融機関2社に対して助言。
- エールフランスに対してリース契約中のAirbus A318型機3機に関するJOLCO取引について、日本の大手リース会社に助言。
- 航空コンテナ(ULD)の枠組み購入契約草案について、大手航空機コンテナ管理サービス会社に助言。
- 大手航空会社に対する特別冷却コンテナの貸出に関する主要な賃貸契約において、大手プロバイダに助言。
- インドの大手民間航空会社を含む新規顧客に対する航空コンテナのアウトソーシングの関する標準的な管理契約について、大手航空機コンテナ(ULD)管理会社に助言。
- 航空コンテナ15,000個に対する米国の大手航空会社とのアウトソーシングおよびサービス契約に関し、大手航空機コンテナ管理サービス会社に助言。
- 有名なドイツの航空会社によるAirbus A319型2機の買収と資金調達に関し、金融投資家に助言。
- Airbus A320型機2機を含む保有機の証券化の形で提案された借換に関し、貸手である大手航空機会社に助言。
- Airbus A330-343型機2機とAirbus A340-600型機1機の再編について、銀行と施設および治安機関に助言。
- KLM Cityhopperに対しリース契約中のEmbraer ERJ-190型機3機を含むJOL取引の再編について、日本の大手リース会社に助言。
- ドイツの航空会社へのリースにおけるAirbus A320-200型機1機の売却および譲渡に関し、有数の航空機貸与者および米国トップ50の代替資産運用会社に助言。
- Boeing 737-800型機2機の金融商品グループの子会社およびTUI航空へのリースにおけるJOLCO融資に関し、ドイツ銀行に助言。
- サウスウエスト航空に対するBoeing 737-800型機2機のリース取引の再編について日本の大手リース会社に助言。
- Cessna Citationのビジネスジェット3機の上級担保付与信枠の借換に関し、バンクオブアメリカに助言。
- Gulfstream G550プライベートビジネスジェットの購入について、東ヨーロッパの超富裕層個人に助言。
- Cessna Citation 680 Sovereignビジネスジェット2機の資金調達について米国の金融機関に助言。

- 世界中の主要なレガシーキャリアへの返済を含む複雑なJOLCO取引に関し、三井住友ファイナンス&リース株式会社を代理。
- Airbus A350-900型機1機のドイツのレガシーキャリアへの貸出時のJOLCO取引に関しする助言を日本の投資家に提供。
- Boeing 737-8K5型機1機の売買およびTUI航空への当該航空機のリース契約に関し、貸与者である日本の航空会社に助言。
- Boeing 737-800型機とEmbraer ERJ-190型機のKLM / KLM Cityhopper社に対するリースに関し日本の大手貸与者に助言。
- Air Berlin倒産に関連し、貸与者である大手航空機に助言。
- Airbus A330型機5機のリース延長および修正契約に関しAerCap社に助言。
- 350機を超える民間航空機を含むCITグループの航空機リース事業 ("CIT") の入札に際しTCを代理。当社は、リースおよびローンのポートフォリオに対するデューデリジェンス(詳細な資産調査報告およびその調査結果の要約を含む)を完了。ポートフォリオは100億米ドルに達すると推定されている。
- クロスボーダーな航空機金融取引において、2件のエンジン交換に関しヨーロッパの大手航空会社に助言。
- MD-11 SF航空機 計13機の資金調達に関しドイツの貨物運送業者に助言。
- Boeing 747-8F 3機の航空機リースに関しアジアの貨物航空会社に助言。
- 複数の航空機の販売、オペレーティングリース取引、進行中の航空機、および航空関連の問題に関連して、ドイツの弁護士としてAerCap社に助言。
- 下記航空機レンタルのJOLCO取引に関し、日本の大手リース会社に助言。Copa Airlinesとリース契約中のBoeing 737-800型機およびBoeing 737_Max_8型機、Jet2社へのBoeing 737-800複数機、ルフトハンザへの新型Airbus A320neo型機2機、GermanwingsへのAirbus A319、Royal Air MoroccoへのBoeing 737 Max 8。
- ヴァージニアトランティック航空に対するJOLCO融資に関し、初めて (そしてその後継続的に) ボーイング787-9航空機の貸主を代理。
- 下記航空機レンタルのJOLCO取引に関し、日本の大手リース会社に助言。Jet2社へのBoeing 737-800型機8機、SASスカンジナビア航空へのAirbus A320neo型機 4機、ヴァージニアトランティック航空へのBoeing 787-9型機1機。
- AerCap(売主および継続的なサービス提供者として) と、DVBおよびKKRの子会社との間のポートフォリオの購入および資金調達取引に関して、下級貸与者としてTCに助言。上級貸与者の中央機関としてパリのBNPパリバが主導。ポートフォリオは、以下の航空会社にリースしている航空機で構成される。Norwegian Air International、WestJet、エアヨーロッパ、KLM、エールフランス、Nouvelair、アルゼンチン航空、エーゲ海、フリーバード、T'Way、ガルーダインドネシア、エアベルリン、エアトランジット、ロイヤルヨルダン、

スイス、ブリュッセル航空、ボリビア、アモイ航空、PT Sriwijaya Air、Comair、Iberia、TAME、Air Asia、Jet2.com、VECA、海南航空、およびEuroAtlantic。

- Air Asia, Air Canada, Air France, ANA, British Airways, Brussels Airlines, Cathay Pacific, KLM, Emirates, Qatar Airways, Cebu Pacific, Easyjet, Germanwings, Vueling およびWizz Air に対するリースに関し、航空機やポートフォリオを含む複雑なJOL取引について日本の大手リース会社に助言。
- 「JOL AIR 2019-1」航空機リース資産担保証券（ABS）に関し、JPリースプロダクツ&サービス株式会社（以下「JPリース」）およびStratos Aircraft Management（以下「ストラトス」）を代理。結果 JPリースは、GE Capital Aviation Services や Pembroke Capital Aircraftなどから、総額6億8320万ドルの航空機15機を買収した。
- 全日本空輸株式会社、TUI航空およびトルコ航空へのリースにおけるBoeing社とAirbus社のJOL融資に関し、日本の投資家に助言。
- 東京センチュリー株式会社(旧社名:東京センチュリーリース)(以下"TC")を代理し、米国に本拠を置く航空機リース会社Avaion Capital Group(以下"ACG")の20%を買収。TCによる20%の買収以前、ACGはPacific Life Insuranceの100%子会社であった。ACGの現在のポートフォリオは約270機(主にナローボディ機)であり、これを約440機まで増資する計画過程にある。この契約は2017年、エアラインエコノミクスから「エクイティディールオブザイヤー賞」を受賞する。

レッサーの代理

航空取引に関する金融機関/貸与者の代理

JOLCO / JOL取引

航空会社の代理

事業再編

ビジネスジェット・プライベートジェットの取引

その他